

日本声楽発声学会長野支部
第100回 記念例会

～木下牧子氏を お迎えして～

第1部：木下牧子作品の合唱曲へのご指導
混声合唱組曲「方舟」より「夏のおもいひに」
混声合唱曲「鷗」

第2部：講演～音楽における
母国語の大切さ～



木下牧子



池田京子



田島達也

作曲家	木下牧子
ソプラノ	池田京子
バリトン	田島達也
ピアノ	寺田智子
合唱	混声合唱団「独楽」 信州大学教育学部合唱団

第3部：コンサート

木下牧子：「夢みたものは」「乳母車」
A.ドヴォルザーク：オペラ《ルサルカ》より「月に寄せる歌」
F.リスト：ペトラルカの3つのソネットより
「平和が見つからず」他

2019年 **11月17日**(日) 午後**2時** 開演(午後**1時30分** 開場)

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 中ホール

全席自由 一般**1,500円** 学生**500円**

〔主催〕日本声楽発声学会長野支部

〔共催〕長野県発声研究会 〔後援〕長野県教育委員会 長野市教育委員会 信濃毎日新聞社

〔プレイガイド〕ホクト文化ホール ヒオキ楽器 美鈴楽器

〔お問い合わせ〕090-4548-4701(小島)

ごあいさつ

日本声楽発声学会長野支部は、第100回記念例会を開催する運びとなりました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援とご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

学会本部は昭和39年に発足以来、日本における声楽演奏と声楽教育に寄与することを目的として活動してまいりました。長野支部は、全国にある本学会支部の中では最も歴史が長く、現在は教育学部の教員、県下の音楽科教員、退職教員、音大卒業生、声楽・合唱の愛好者の皆さまを中心に活動しております。年に3回開催される通常の例会では、学術的な研究発表にとどまらず、参加者の皆さまと共に実際に声を出して歌う活動や呼吸法、発声法、指導法の実践的研究、外部講師をお招きしての演奏会など、声楽に関する様々な活動を展開しております。

この度、プロ・アマを問わず幅広い層に人気の高い作曲家・木下牧子氏をゲストにお迎えし、合唱団へのご指導、ご講演をお願いしております。また、木下作品を中心としたプログラムでコンサートを開催いたします。

この記念例会が、私たちの活動の一端を知っていただける良い機会になればと願っております。

プロフィール



木下 牧子 作曲家

東京生まれ。東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学院修了。日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)入選。日本交響楽振興財団作曲賞入選。三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞。主要作品に、オペラ「不思議の国のアリス」、オーケストラのための「ルクス・エテルナ」、ピアノ・コンチェルト、吹奏楽曲「ゴシック」、「音楽物語〜蜘蛛の糸」、ピアノ・カルテット「もうひとつの世界」、ピアノのための「6つのフラグメント」、合唱組曲「方舟」、歌曲集「晩夏」ほか。声楽作品は特に人気が高く、歌曲・合唱とも全国で演奏されている。出版は100冊を超え、CDも「室内楽作品集 もうひとつの世界」(レコード芸術 現代作曲部門 特撰盤/ライヴノーツ)他多数。

◎木下牧子公式サイト m-kinoshita.com



池田 京子 ソプラノ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所を修了後、ドイツ政府奨学生としてシュトゥットガルト国立芸術大学に留学し、大学院ディプロマを取得。帰国後は「NHK・FMリサイタル」「題名のない音楽会」等の放送をはじめ、宗教曲や第九のソリストとして、ベルリン交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等、国内外のオーケストラと共演を重ねている。名古屋市芸術賞、愛知県芸術文化選奨等を受賞。CD「日本のうた」は「レコード芸術」「CDジャーナル」等で高く評価された。平成17年度文化庁芸術家海外派遣研修員。現在、日本声楽発声学会理事、同長野支部長、武蔵野音楽大学講師、東京二期会会員、信州大学教授。



田島 達也 バリトン

東京藝術大学および同大学院修士課程修了。稲田浩、多田羅迪夫の各氏に師事。在学中に浦和市民オペラ公演 ヴェルディ「椿姫」(グランヴィル役)にてオペラデビューをする。その後、新国立劇場や藤原歌劇団公演に出演し、プッチーニ「ボエーム」(コッリーネ役)やロッシーニ「どろぼうかきさぎ」(フェルナンド役)をはじめ、数々のオペラに出演している。また、ベートーヴェン「第九」やヘンデル「メサイア」等のコンサートでも活動を行っている。五島記念財団オペラ新人賞受賞によりイタリア留学を行い、アルダ ボレリ、ジョルジョ ジュゼッピーニの各氏に師事する。藤原歌劇団団員。信州大学准教授。



寺田 智子 ピアノ

愛知県出身。東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。

愛知県より奨学金を得て、イタリアへ留学。ヴェルディ国立音楽院卒業。数多くの国際コンクールに優勝および上位入賞し、イタリア各地で演奏会に出演。日本国内でも、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽など、さまざまな演奏活動を行っている。

長野県小諸高校音楽科講師。



杉山 由一(指揮)

混声合唱団「独楽"KOMA"」

杉山由一氏に指導を受けた合唱部のOBらが中心となって16年前の2003年に発足。

団名の『独楽』は、元長野市教育長の故奥村秀雄氏が、柳町中学校在職中に話された全校講話、「独楽の澄むとき心棒の廻るとき」という島崎藤村の「いろはがるた」に由来している。

2016年の春からはNHK全国学校音楽コンクールの課題曲を取り上げ「合唱セミナー」を開催し多くの教員に研修の場を提供している。

信州大学音楽教育コース合唱団

信州大学教育学部音楽教育コースの2年生全員を中心に、3・4年生も加わり、1年生を除いた音楽教育コースのほぼ全員で構成されている。「合唱法」という授業において毎週練習を行い、例年12月に行われる音楽教育コースの定期演奏会で演奏発表を行う。演奏曲は様々で、日本語の曲と外国語の曲を隔年で取り上げて活動している。

